

# あのね

2024

3

あのね  
2024年 3月号  
通巻378号  
発行 福音館書店 宣伝課

もうすぐ春。暖かな日差しに誘われて、おでかけしたくなる季節がやってきました。今月の新刊『あかちゃんのおさんぼえほん みちかないきもの全3冊』は、お散歩で出会える身近な自然が細密で美しい版画と親しみやすい言葉で描かれます。ご自身の子育ての経験から生まれたという本作について、作者のとうごうなりさんにエッセイを綴っていただきました。



『あ! てんとうむし』  
『からすが かあ!』  
『たんぽぽのはら』

とうごうなりさ 作  
各定価990円(税込)  
15×15cm/22ページ  
1才から

## 内容紹介

赤ちゃんが生活のなかで出会う、自然の生き物を題材にした絵本です。テントウムシを見つけて遊ぶ『あ! てんとうむし』、食べる、うんち、遊ぶ、ねる、というカラスの一日を描く『からすが かあ!』、タンポポに次々やってくる生き物の様子をリズムカルにうたう『たんぽぽのはら』。生態にそくしたやさしなお話が、細密で美しい版画で描かれます。めくりやすく破れにくい、15センチ角のボードブック版。



# 赤ちゃんに身近な生き物を見せたい

## とうごうなりさ

絵本作家としての活動がようやく少し軌道に乗ってきたころ、娘が生まれました。思うように仕事をこなせない分、娘と一緒にいろいろな絵本を読んでみよう、本屋をうろつき、近くの絵本文庫に通いはじめました。赤ちゃんは自分で絵本を選べないので、初めのうちは当然、親の趣味にそった本を手にとることになります。うちは夫婦ともに自然観察が好きなので、自然好きな子に育てたいと生き物の絵本を探しました。

ところが、赤ちゃん絵本のコーナーへ行くと、ゾウやキリン、ライオンなどが出てくるものはたくさんあるのに、身近な自然を扱ったものがほとんどなかったのです。動物園か外国で見られる生き物——カラスやスズメ、カエルやヘビなどを知るほうが大切なのはと、たびたび思いました。

子育て最初の怒濤の数年間が終わわり、あのころほしいと思った赤ちゃん向けの自然の絵本を作ろうと考えて、まず思い浮かんだ生き物がカラスでした。ペビーカーや抱っこ紐でよく散歩していたのですが、「歳前後の娘が「アー!」と指さして教えてくれる唯一の生き物がカラ

スだったからです。スズメなどと違って大きく、黒いのでよく見えたのだと思います。餌を食べたり、水浴びしたり、夕方ねぐらに帰って行くカラスと一緒に観察するうちに、ご飯やお風呂といった子どもの日常とも重ね合わせたカラスの一日を描いた絵本を思いつきました。

意気揚々と編集者にラフを見せたところ返ってきたのは「カラスの絵本は人気がないですよね」「カラスは怖いと思う人が多いので」という言葉でした。でもカラスが人を襲うのはヒナがいる時期に、よほど人間を脅威だと感じた特殊な事情のときだけです。普段からカラスを観察している人ならば、巣の場所や子育ての時期などに気づき注意できるので軋轢が生まれにくいのも事実です。

大人が持っている先入観のために、子どもが一番身近なおもしろい鳥であるカラスに親しまなくなるのはもったいない。そんな議論を重ねたのちに、手にとってもらいやすくするために、他の生き物の絵本とあわせて3冊セットにしたらどうでしょうと提案されました。

3冊セットにするなら、どれか一つでも好きになってくれるように全く違うタイプのお話にしたい、子どもがふれあえる虫と植物にした

いと思、1歳半頃の娘と綿毛飛ばしに夢中になったタンポポ、手に乗せて遊んだテントウムシを題材に選びました。

また赤ちゃんと暮らしてみて、「これとこれが同じ!」と分かったときの驚きや、そうやって覚えたものに愛着を感じていることが印象に残りました。絵本に出てきたのと同じ鳥がコップについているなどと教えてくれ、その鳥を見るたびに喜ぶようになったのです。逆にいえば、何に興味を持つかは、身近にあるもの次第なのです。そう気づいてからは、まだ寝ているだけの時期や絵本をひたすらめくったり破いたりする0歳から、身近な生き物の絵を目にして、そのお話に親しんでほしいと思うようになりました。15センチ角のボードブックという形にこだわったのは、破かれるからと親が絵本をしまい込まずに、赤ちゃんが自由に遊べるものであってほしかったからです。

お散歩デビューする前からこれらの赤ちゃん絵本を読んで身近な生き物に親しんでくれたら、そして外で本物の生き物を見つけた時に、その二つを結びつけてくれたら、自然を楽しむ良い一歩を踏み出せるのではと願って、このシリーズを作りました。



## プレゼントにおすすめ!

『あ! てんとうむし』『からすが かあ!』『たんぽぽのはら』3冊セット。美しいセットケース入りです。



## 『あかちゃんのおさんぼえほん みちかないきもの 全3冊』

とうごうなりさ 作  
定価2,970円(税込)  
16×16cm

とうごうなりさ●1987年生まれ。東京農工大学地域生態システム学科を卒業後、イギリスのケンブリッジ・スクール・オブ・アートで絵本や児童書の挿絵を学ぶ。2019年ポローニャ国際絵本原画展入選。絵本に『じよやのかね』『さくらがさくと』『ハクセキレイのよる』(ちいさながくのとも/すべて福音館書店)、『はばたけ!パンのおにいちゃん』(出版ワークス)など。挿絵に『Magnificent Birds』(英 Walker Studio)、『はりねずみとむぐらのふうせんりょう』(福音館書店)がある。

# 子育てを応援する本



この春、お子さんが入園・入学を迎えるご家庭もあることでしょう。新しい環境に、子どもたちもですが、見守る側の親も期待と不安でいっぱいになりますよね。そんなお父さん、お母さんに寄り添い、時には笑いを、時にはあたたかな言葉をおくってくれる本をご紹介します。



大人にも小学生にも大人気！  
育児エッセイマンガ

## 新刊 子育ては.....きっと、たぶん、おもしろい！



たぶん、なんとかなるでしょう。続  
堀川真 作  
定価990円(税込) / 144ページ

絵本作家が描く子育てコミックエッセイの続編。兄・ブン(8歳)と弟・ダイ(5歳)、元気いっぱい兄弟に振り回される父と母。北海道在住4人家族のリアルを、堀川さんが温かな父のまなざしで描きます。

おとなの方に

## 好評既刊



### シリーズ1作目！



### やんちゃな男子2人！ 爆笑ドタバタ育児マンガ

たぶん、なんとかなるでしょう。  
堀川真 作  
定価990円(税込) / 144ページ  
笑える！と人気の、雑誌「母の友」連載の育児エッセイマンガの単行本。やんちゃな男子2人とのドタバタな日々を愉快に綴ります。

おとなの方に



### 精神科医がやさしく綴る 子育てのヒント

ははがうまれる  
宮地尚子 著 / 呉夏枝 絵  
定価1,210円(税込) / 176ページ  
トラウマと向き合う精神科医が、自身の経験も交えて綴る子育てのヒント。「母の友」連載時に多くの共感を呼んだエッセイです。



### 「子どもの味方」になるための、 「子どもの見方」

こどものみかた 春夏秋冬  
柴田愛子 著 / 100%ORANGE 絵 / 繁延あづさ 写真  
定価1,320円(税込) / 192ページ  
未知のものへの好奇心、友だちとの葛藤、個性の違い……精一杯生きる子どもたちの心のドラマを、ベテラン保育者が綴ったエッセイ。

おとなの方に



### 絵本の記憶は 眠っているだけなのです

絵本の記憶、子どもの気持ち  
山口雅子 著  
定価1,100円(税込) / 114ページ  
絵本を、子どもは一体どう受けとめているのでしょうか？ 学生たちの幼い頃の記憶が甦ったとき、意外な事実が明らかになります。

おとなの方に



### 佐々木正美を 初めて読む方は 本書から！

はじめは愛着から  
人を信じ、自分を信じる子どもに  
佐々木正美 著 / 山脇百合子 画  
定価990円(税込) / 208ページ  
乳児期から思春期までの発達段階で心にとめておきたいことを、児童精神科医の著者が、その経験を踏まえて読者に語りかけます。

おとなの方に



### 歌人・東直子が綴る 子育てエッセイ

一緒に生きる  
親子の風景  
東直子 著 / 堀川いづみ 画  
定価1,760円(税込) / 240ページ  
歌人・東直子が綴る子育てエッセイ。先人の詩や短歌と共に、今、幼い子と共に暮らす人がいだく悩みや葛藤にそっと寄り添う。

おとなの方に



### 目からウロコの 子育て談義

「わらべうた」で子育て  
入門編(音声ダウンロード付)  
福音館書店の友編集部 編  
阿部ヤエ 語り / 平野恵理子 絵  
定価1,650円(税込) / 128ページ  
「わらべうた」は、子どもと大人を楽しくつなげる魔法のことばです。遠野のわらべうたの伝承者、阿部ヤエさんの語る音源付き。

おとなの方に



### 遊んで育つ 遊んで学ぶ

「わらべうた」で子育て  
応用編  
福音館書店の友編集部 編  
阿部ヤエ 語り / 平野恵理子 絵  
定価2,200円(税込) / 216ページ  
「わらべうた」には、どんな育児書よりわかりやすい子育ての知恵がある。小学生までの子どもの遊びを通して子どもの成長を考えます。

おとなの方に

## 3月の新刊



### トラクターが 台車と合体。 トラックに変身！



トラトラトラクター  
小風さち文 / 関根立巳 絵  
定価990円(税込) / 24ページ  
荷台がない運転席だけのトラック。それがこの絵本の主人公のトラクターです。台車と合体すると、力持ちのトラックに大変身！

3才から



### 小さかったころ、 どんなふうだった？



なっちゃんがちっちゃかったころのおはなし  
鍋田敬子 作  
定価1,100円(税込) / 32ページ  
なっちゃんは、自分が小さかったころの話を聞くのが大好き。ユーモアたっぷりに描かれる、家族のあたたかな物語です。

4才から



### 動物はすごい。 でも料理をする人間も すごい！



人間は料理をする生きものだ  
森枝卓士 文 / 写真  
定価1,540円(税込) / 40ページ  
ライオンのような強い歯も牛のように4つの胃もありませんが、人間は料理をすることで色々なものを食べられるようにするのです。

5・6才から



### 人はみんなそれぞれ、 自分だけの時間を 生きています



みんなそれぞれ心の時間  
一川誠文 / 吉野晃男 絵  
定価1,430円(税込) / 40ページ  
いつも同じように進む「時計の時間」とはちがいが、どんな場所ですごすか、何をすすすかなどによって伸び縮みする「心の時間」。

小学  
中学  
年から

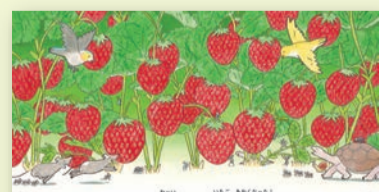
## 福音館の月刊誌 4月号のご紹介

### ピックアップ！



いちご  
おおきな一れ  
たむらしげる 作

### こどものとも 年少版



白い花を見つけたねずみたち。緑の実がなり、「はーやく おおきな一れ」「はーやく あかーくなーれ」と、いちごの生長を心待ちにします。いちごが大きく真っ赤に色づくのを、ねずみたちが楽しみに待つ様子を描きます。



### こどものとも 0.1.2.

でておいで  
阿部結 作  
布に隠れた赤ちゃんが、顔や手をだし、少しずつ姿を現します。



### こどものとも 年中向き

うちのぼうがすごいやで！  
鍋田敬子 作  
どっちがすごい？  
ふたりの空想はどんどん膨らんでいきます。



### こどものとも 5~6才向き

いいはがはえるおまじない  
まるやまあや 作  
抜けた歯を投げておまじないをしたら、福ねずみがやってきました！



### ちいさなかがくのとも

ごはんだよ! だんごむし  
石橋真樹子 作  
だんごむし、なにたべる？  
ばくのおやつは、たべるかな？



### かがくのとも 5~6才向き

くさぶえあそび  
井上大成文 / 中田彩郁 絵  
身近な草木の葉や茎などを使って  
草笛をつくりましょう！



### たくさんのふしぎ

はじめちよろちよろ中ぱっぱごはんを炊く  
森枝卓士 文 / 写真  
世界じゅうのごはんの炊き方って、  
どんなものなのでしょう。



### 母の友

特集「子育てを“たのしみ”」  
幼い子どもの日々は忙しい！  
でも、やっぱり楽しい！  
子育てがもっと面白くなる記事をご紹介します。

おとなの方に